



“ホット”なネットワーク!

かんちゃん通信 第4号

夏号 2016年7月10日発行

「あっ ふざけてたら まちごうた」



子どものことば

特集

& エピソード

学童保育室はいつもにぎやかです。その学童室での「子どものことば」にまつわるエピソードをお話したいと思います。(子どもは大阪府三島郡の子どもですので大阪弁です)

(小学3年男子)

子 おれ 1日3回ぐらいケンカする
おれ ケンカしたくなるねん
それで 弟に ケンカ 売る
先生 ほんで 弟 ケンカ 買うの?
子 うん すぐ買う!

(『子ども』第22号 2012年7月)

この言葉を読んだだけでは、喧嘩っ早い子どもだと思われるかもしれませんが、しっかりしたユーモアのある子どもで、学校ではケンカをすることはほとんどない、おだやかな子どもでした。でも家庭では、1歳違いの弟とよくケンカになるそうです。弟が「すぐ買う」ところが面白いです。

村上 薫 さん

(学童保育指導員:大阪府)

家庭での様子も子どもたちの言葉から垣間見ることができます。

(小学3年女子)

パパがママに
いろいろ いたずら すんねん
なんか じゃれてんねん

(『子ども』第23号、2013年3月)

この言葉から、仲の良い夫婦の様子や、それを見ている楽しそうな子どもの姿が思い浮かびます。

また、子どもたちは、先生の様子もよく見ているなぁと感心させられます。

(小学2年女子)

先生 いつも 真剣やな
話し聞くとときも 真剣やな
もうちょっと ゆっくり ゆっくり

(『子ども』第23号、2013年3月)

一生懸命になっている先生に、もう少し肩の力を抜いたらどう?と、アドバイスをしてくれました。【続きは2ページへ】



♡多文化交流会(5月)の様子は3ページです